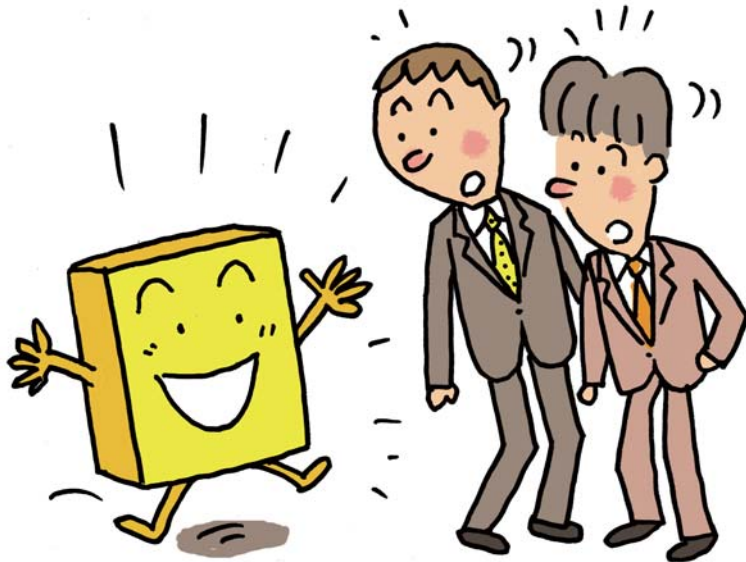


- Beyond The Document Master -

# Trinity

設計書自動作成&システム調査ツール

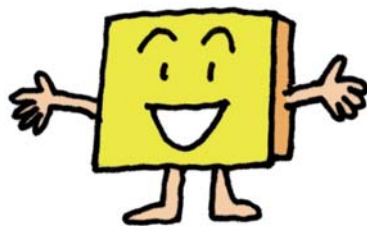


株式会社 ZeroDivide

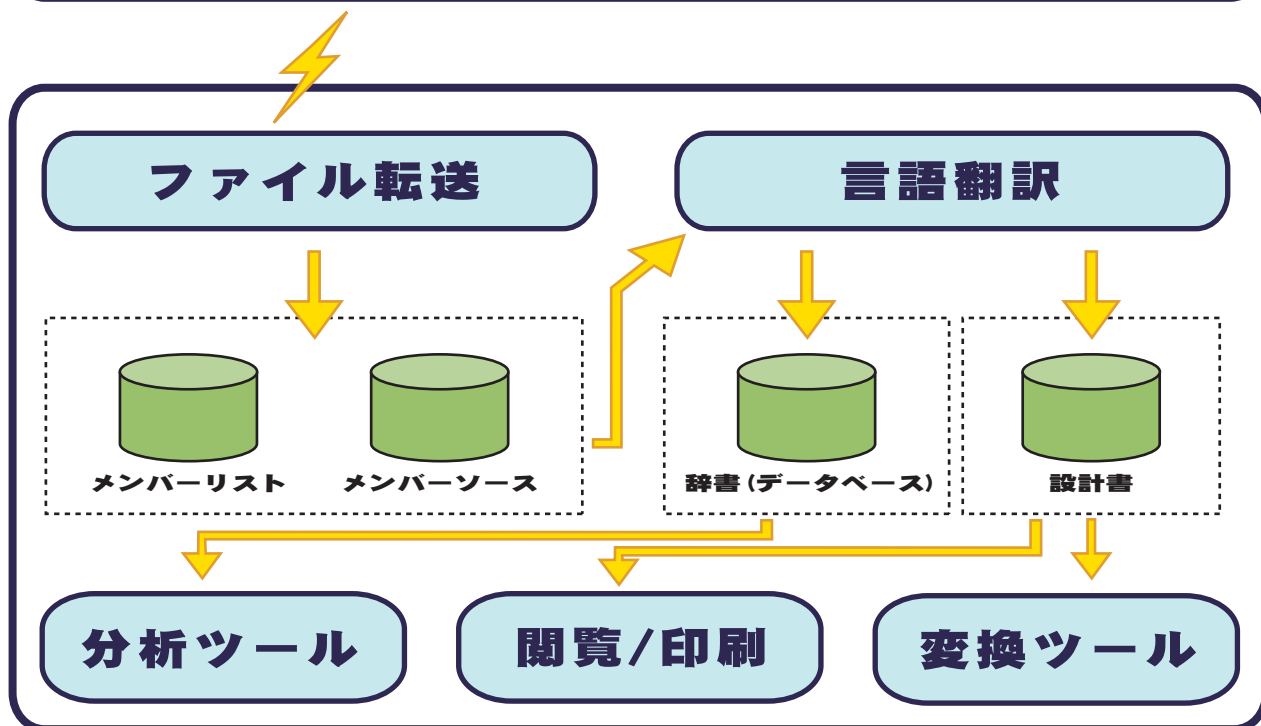
- Beyond The Document Master -

# Trinity

設計書自動作成&システム調査ツール



## IBM i (System i, AS/400)



「Trinity」は、IBM社の『IBM i』(System i,AS/400)で開発されたシステムのメンバーソースを元に設計書を自動作成するソフトウェアです。

「Trinity」では設計書の作成以外にもシステムの現状分析機能や設計書の変換機能などを提供することでシステムの文章化ならびに日常の開発・運用業務を強力にサポートします。

▶ 開発済みソフトウェアのメンバーソースから設計書を自動作成します。

▶ メンバーソース毎に多様な設計書を作成することができます。また「管理資料」と呼ばれるシステム全体の目録的な資料を作成することもできます。

▶ 作成された設計書は自由に閲覧/印刷ができます。また設計書の変更を行うこともできます。

▶ メンバーソースに記述された日本語コメントを効率良く使用することで内容の豊富な設計書を作成します。

▶ 一連の作業を自動化するスケジューラーやメンバーソースの転送機能など、日々の更新を支援する機能も多数ご用意しています。

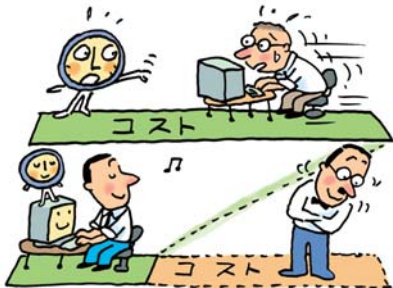
▶ フィールドの使用状況を調べたり、RPGソースを日本語化して内容を把握し易くするなど、現状分析用の様々な機能をご利用頂けます。

▶ 作成された設計書はPDFファイルやDocuWorksファイル、エクセルなどのファイル、または画像ファイルなどに変換できます。

※PDFファイルやDocuWorksファイルへの変換など、一部の機能を使用するには保守契約が必要になります。

# こんな『困った』に Trinity は応えます！

## Case1：設計書の作成に手間と時間がかかる。



設計書の自動作成で作業コストを大幅削減。浮いたコストは新規開発やメンテナンスなど実作業に効率よく割り当てることができます。

## Case 2：開発者が退職してしまった。



設計書の自動作成と分析ツールでシステムの把握を強力にサポートしますので、担当者が開発現場を離れるリスクを軽減できます。

## Case 3：現行システムの設計書が無い。



開発済みのメンバーソースから作成を行うのでいつでも設計書は最新状態。受託先業者への情報提供もスムーズに進めることができます。

## Case 4：急に設計書の納品を行うことになった。



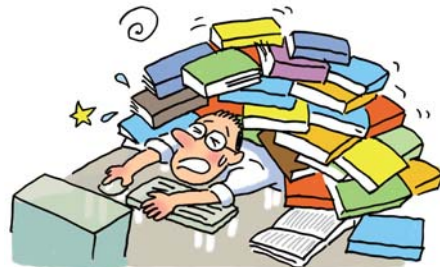
受託元から急に設計書の提出を求められた時もメンバーソースから設計書を作成できるTrinityなら直ぐに対応できます。

## Case 5：IT統制や監査用資料が必要。



スケジューラー機能で手間をかけずに設計書の更新作業が行えますので設計書はいつでも最新。また設計書はPDFファイルなどに変換できますので提出用にも最適です。

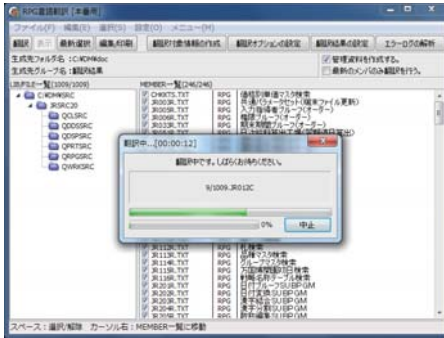
## Case6：どれが最新が分からない。



いつでも最新の設計書が作成できるTrinityなら設計書の更新状態について開発者が思い悩む心配がなくなります。

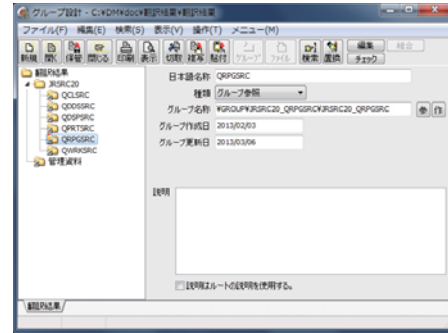
# 設計書の作成&閲覧

## ■RPG言語翻訳



メンバーソースを元に設計書を作成します。多彩なオプション設定が用意されていますので、現場の要望に併せた細かな調整を行うことができます。

## ■グループ設計



作成された設計書はIBM i上のLIB/FILEと同様の階層で管理されます。また設計書は編集を行うこともできますので、例えば現行の設計書を元に新しい設計書を作成することもできます。

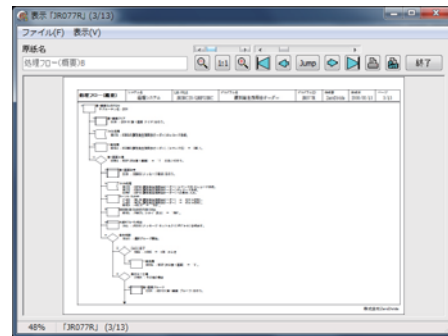
# 分析ツール

## ■フィールドネット



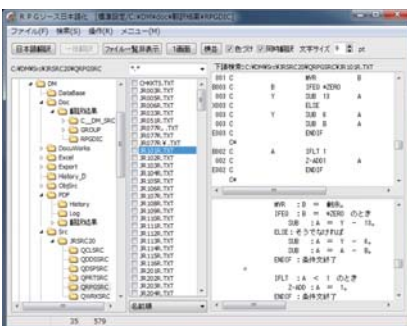
DDSで定義されたフィールドがRPGソース上の何処で使用されているかを簡単に調査することができます。

## ■プレビュー



作成された設計書は画面で閲覧することができます。閲覧の他に表示中の設計書をエクセルファイルや画像ファイルなどにエクスポートすることもできます。

## ■RPGソース日本語化



RPGソースを日本語化することで内容を把握しやすくします。DDSなどで定義されたフィールドには日本語コメントが併記されます。

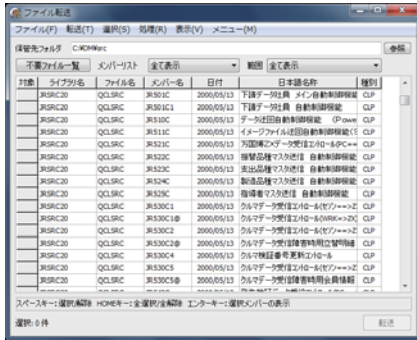
## ■ソース検索



特定のキーワードを含むメンバーソースを検索する機能です。キーワードは複数設定可能で、更にキーワード毎に検索範囲を設定することができます。

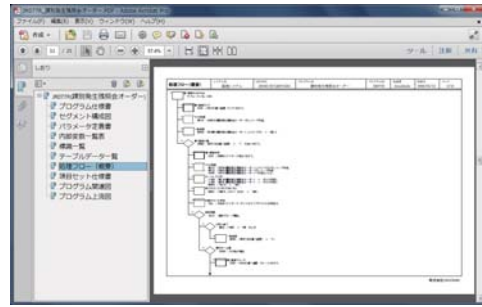
# 支援機能

## ■ファイル転送



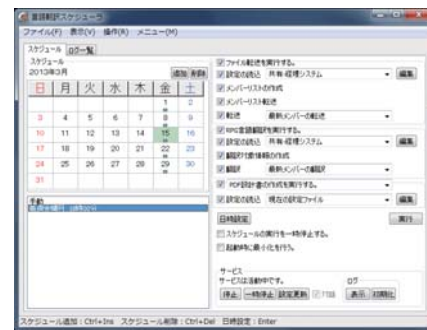
メンバーソースを簡単な操作で転送することができます。対象となるメンバーソースは手動による選択の他に更新日時を元に最新のものだけを転送することもできます。

## ■設計書の変換



作成した設計書をPDFファイルやDocuWorksファイルに変換することができます。他にもエクセルファイルや各種画像フォーマットへのエクスポート機能が用意されています。

## ■言語翻訳スケジューラ



定期的な設計書の更新作業を自動化することができます。これにより人の手を介在させることなく最新の設計書を維持することができます。

# お試し翻訳サービス（無料）

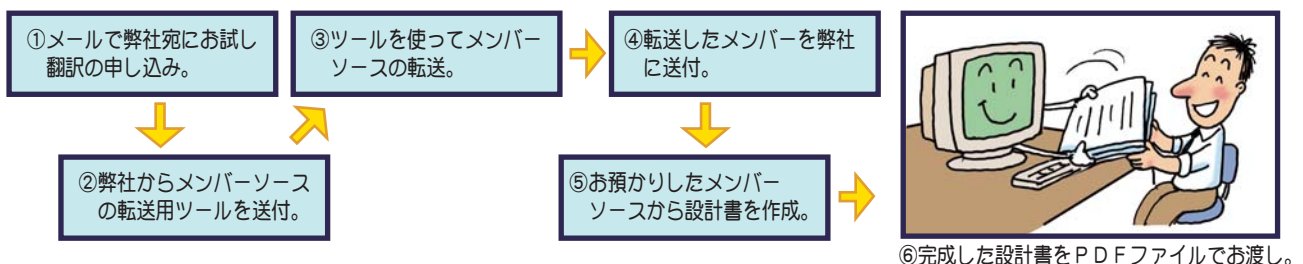
ご購入前にTrinityの翻訳機能を体験していただくためのサービスです。

お客様が開発されたメンバーソースをメールもしくは郵送で送付していただいた後、弊社で翻訳作業を行って結果をご返送させていただきます。

弊社で用意した出力サンプルと異なり、実際にお客様が作成されたソースコードを元に設計書の作成を行いますので、お客様の環境で翻訳を行った場合の実際のイメージを体験していただくことができます。

ご購入を検討されているお客様は是非お試しください。

## お試し翻訳サービスの流れ



# 動作環境

## IBM i (System i, AS/400)

- オペレーティングシステム  
OS400 V4R1M0以上
- エミュレータ  
パーソナルコミュニケーション  
クライアントアクセス
- 対象メンバーソース  
CLソース RPGソース(ILE対応) COBOLソース  
DDS(物理/論理ファイル、表示装置、印刷装置)  
SQL FMT メニューCMD プロシージャ(S/36) ¥SFGR

※1 ILEの/FREEについては一部対応しておりません。  
 ※2 ファイル転送にFTPを使用する場合や一部の機能にはIBM iのFTPサーバが必要です。  
 なおファイル転送にFTPを使用する場合、エミュレータは必要ありません。  
 ※3 COBOLソースの翻訳はオプションになります。

## PC環境

- プロセッサ  
Pentium4 1.3GHz以上もしくは完全互換のプロセッサ ※1
- メモリー  
512MByte以上 ※2
- ハードディスク ※3  
20GByte以上
- オペレーティングシステム ※5  
Windows XP/Vista/7/8.1/10  
Windows Server 2003 R2/2008/2008 R2/2012 R2/2016

※1 プロセッサはCore 2 Duo 1.8GHz以上を推奨  
 ※2 メモリーは1GByte以上を推奨  
 ※3 ハードディスクは回転数の高速なものを推奨。  
 なおハードディスクの必要量は対象となるメンバーソースの数により変動します。  
 ※4 ソフトウェアの導入にはDVD/CD-ROMドライブおよびUSBポートが必要です。  
 ※5 Windows Server 2003 R2の導入にはIMEの入れ替えが必要になります。

# 設計書の一覧

グループ	設計書名	グループ	設計書名	グループ	設計書名	
CLドキュメント	CLプログラム仕様書 CLセグメント構成図 CLパラメータ定義書 置換えて定義一覧 CL処理フロー (概要) プログラム関連図 CLジョブフロー (概要) プログラム上流図 更新履歴一覧	画面ドキュメント	レコード様式一覧表 ※1 画面定義書 ※1 REFFLD参照先一覧 更新履歴一覧 ※1	管理資料	LIB/FILE一覧表 CL一覧表 CL NET一覧表 プログラム一覧表 プログラムSTEP一覧表 プログラムNET一覧表 ファイル一覧表 ファイルNET一覧表 使用ファイル一覧表 物理-論理ファイル一覧表 論理-物理ファイル一覧表 キー情報一覧表 画面一覧表 帳票一覧表 メニュー一覧表 QUERY一覧表 使用QUERY一覧表 SQL一覧表 RPG COPY一覧表 REFFLD一覧表(正/逆) 重複メンバー一覧表 欠損メンバー一覧表(2種) 内部記述一覧表(FILE/帳票) プロシージャー一覧表 プロシージャーNET一覧表 FMTパラメータ一覧表 画面定義一覧表(S/36) COBOL一覧 ※2 COBOL COPY一覧 ※2 COBOL NET一覧 ※2 サブプロシージャー一覧表(2種) 使用サブプロシージャー一覧表 サブプロシージャーNET一覧表 変更履歴一覧表(2種)	
		プリントドキュメント	レコード様式一覧表 プリントレイアウト REFFLD参照先一覧 更新履歴一覧			
		SQLドキュメント	SQL項目一覧			
RPGドキュメント	プログラム仕様書 処理概要書 セグメント構成図 パラメータ定義書 内部記述一覧表 内部記述一覧表(0仕様) 内部変数一覧表 IMPORT定義一覧表 標識一覧 キー定義書 テーブルデータ一覧 置換えて定義一覧 処理フロー (概要) 項目セット仕様書 プリントレイアウト(0仕様書) プログラム関連図 プログラム上流図 更新履歴一覧	FMTドキュメント	FMTパラメータ使用先一覧 FMTパラメータ概要書			
ファイルドキュメント	ファイルレイアウト ファイル項目一覧 ファイル概要書 論理ファイル一覧 置換えて定義一覧 REFFLD参照先一覧 更新履歴一覧	メニュードキュメント	プログラム関連図 プログラム上流図			
		プロシージャードキュメント	プロシージャー概要 プロシージャーフロー プロシージャー仕様書 (通常用/#GSR0T用) プログラム関連図 プログラム上流図 更新履歴一覧			
		COBOLDドキュメント ※2	プログラム仕様書 セグメント構成図 内部変数一覧表 置換えて定義一覧 処理フロー(概要) プリントレイアウト プログラム関連図 プログラム上流図			
		COBOL COPY文ドキュメント ※2	ファイルレイアウト ファイル項目一覧			

※1 ¥SFGR仕様書(画面S/36)に対応 ※2 COBOL翻訳はオプションです。

# お問い合わせ

開発・販売元



株式会社 ZeroDivide

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北5丁目12-10-301

Tel :03-6914-5140

Fax :03-6914-5141

mail:kura.zerodivide@gmail.com

※IBM、IBM i、System i、AS/400はIBM Corporationの商標です。  
 ※その他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。  
 ※このパンフレットの内容は2018年9月現在のものです。記載の内容は予告無く変更する  
 場合がございますので予めご了承ください。